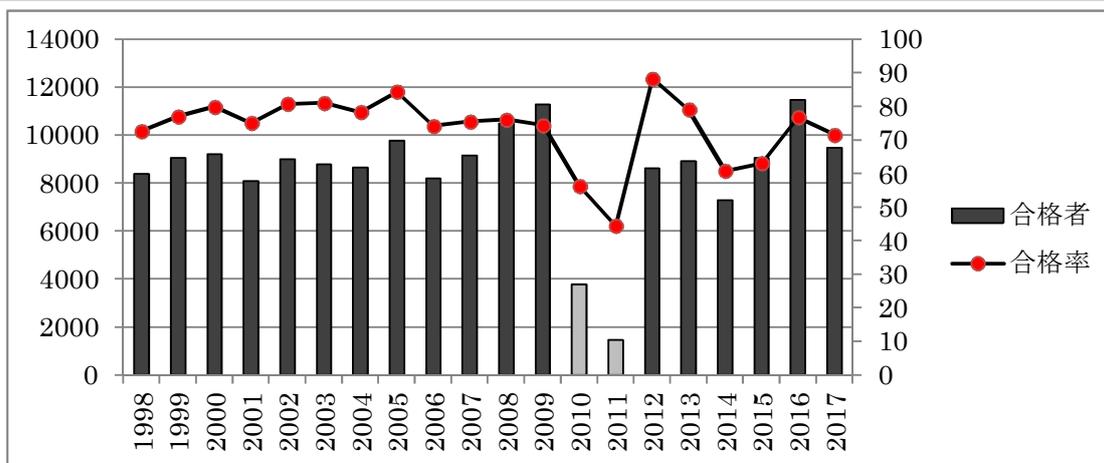


## 薬剤師国家試験 2017 年

### 1) 2017 年薬剤師国家試験合格者数

3月28日(火)に厚労省から発表されました。合格者総数は全体で9,479名(うち新卒7,052名)、合格率は71.58%でした。今日は、この話題です。

### 2) 過去20年間の薬剤師国家試験合格者数の推移



① 6年制卒業以前 (1998年～2007年平均) : 8,836名 ± 514名 (平均値 ± SD)

② 6年制卒業以降 (2012年～2017年平均) : 9,149名 ± 1,362名 (平均値 ± SD)

平均313人(3.5%)増ですが、バラツキ具合からみて人数が増加しているとは思われません。薬剤師不足は今後も続きそうです。現在の薬剤師数でできる抜本的な政治的な改革が必要だと個人的には思います(2008年と2009年は6年制に伴う駆け込み増加と思われるので計算から削除)。

### 3) 経営体系別の合格者数傾向

薬系の大学は国立14校、公立3校、私立56校(全73大学)がありますが、それぞれで見ましょう。表中の全合格者とは新卒と既卒を合計した率で、新卒単独は右側に示しています。

	数	全合格者数(率)	全合格率	最大-最小	新卒合格率	最大-最小
国立大	14	540名(5.7%)	84.38	95.24-71.43	93.39	100-84.31
公立大	3	236名(2.5%)	83.69	86.00-80.56	92.63	94.87-91.07
私立大	56	8703名(91.8%)	70.64	96.72-39.09	85.06	99.14-41.57

① 薬系大学のうち私立大学の数の割合は77%ですが、薬剤師合格者数は92%と薬剤師のほとんどが私立大学で占められていることが分かります。6年制に移行してからは国公立大学の薬剤師になれる6年制の定員が減らされているのも影響しており、受験生にとって学費の安い国公立の薬学部は難関学部になってしまいました。

② 平均合格率は一般に国公立が私立と比べて高く、また新卒の方が既卒より合格率が高くなっています。前年不合格だった既卒の場合は1年をかけても、翌年、国家試験合格のレベルにはなかなか達しない人が多いと考えられます。背景には国家試験のレベルが上がっている一方で、学生の質が低下している点が指摘されています。

③ 私立大の合格率は格差が大きく、国立大を上回る大学もある一方で全体の合格率が4割に満たない

大学もあります。

## 5) 大学別合格率

### ①国公立大学上位5大学（全体と新卒）

上位大学	全合格率	合格数/受験数	新卒上位大学	新卒合格率	合格数/受験数
1.金沢大学	95.24%	40/42	1.金沢大学	100%	36/36
2.広島大学	93.33%	42/45	1.九州大学	100%	28/28
3.九州大学	92.5%	37/40	1.徳島大学	100%	38/38
4.北海道大学	89.19%	33/37	1.東京大学	100%	6/6
5.徳島大学	87.93%	51/58	5.北海道大学	96.67%	29/30

金沢大学は例年上位を維持していますが今年は1位となっています。薬学部として入学させ在学時の成績いかんで4年制、6年制に振り分けるため、かなり競争が激しいと聞きます。それが合格率アップにつながっているのでしょうか。筆者が在学していた当時よりかなりレベルアップしていると金沢大学薬学部の某教授が話をしていました。

### ②私立大学上位5大学

上位大学	全合格率	合格数/受験数	新卒上位大学	新卒合格率	合格数/受験数
1.いわき明星大学	96.72	59/61	1.国際医療福祉大学	99.14	115/116
2.近畿大学	92.59	150/162	2.名城大学	97.6	203/208
3.東邦大学	90.12	219/243	3.愛知学院大学	97.17	103/106
4.名城大学	90.41	245/271	4.いわき明星大学	96.67	58/60
5.神戸薬科大学	89.26	266/298	5.九州保健福祉大学	96	72/75

いわき明星は存知あげませんが、近畿大学以下神戸薬科大学まで多数の学生が合格しているのは既卒の合格率も悪くないからです。大したもの。特に近畿大学、名城大学、神戸薬科大学(当時は神戸女子薬科大学)は私が大学生の頃、関西薬学生連盟大会のバドミントンで試合をした相手でした。

### ③私立大学下位5大学

下位大学	全合格率	合格数/受験数	新卒下位大学	新卒合格率	合格数/受験数
1.第一薬科大学	39.09	120/307	1.奥羽大学	41.57	37/89
2.青森大学	42.06	45/107	2.兵庫医療大学	44.07	52/118
3.帝京平成大学	42.54	151/355	3.岩手医科大学	52.29	57/109
4.姫路獨協大学	42.73	47/110	4.青森大学	54.76	23/42
5.日本薬科大学	46.46	151/325	5.姫路獨協大学	61.29	19/31

第一薬科大学は旧4年制卒の受験数97名と他大学より群を抜いて残っており、かつ彼らの合格率が5.2%と異常に低いため全体の合格率も下がっています。新卒のみで見ると93.75%と国公立並ですが、次に示すように受験抑制効果も出ているようです。

## 6) 受験率

大学によっては合格率を上げるために合格レベルに達しない学生の卒業を延期しています。新卒者の受験者数と出願者数の比率を取ると国立98.3%、公立98.6%に対して私立87.2%と**10ポイント以上も私立が低い**結果が出ています。ちなみに60%台の私立大学は右表のようになります。裏を返せばなかなか国家試験合格レベルにまで達しない学生が多いといえます。

薬剤師職能のますますレベルアップが求められている昨今ですが、底辺がこれではどうなるのでしょうか・・・申し訳ないですが、冷や冷やものです。

60%台新卒受験率	受験率%	受験数/出願数
第一薬科大学	60	48/80
日本薬科大学	60	54/90
千葉科学大学	60.9	28/46
九州保健福祉大学	63	75/119
就実大学	67.1	57/85
広島国際大学	67.7	84/124
北陸大学	68.8	71/109